

## 市長記者会見記録

日時：2020年9月15日（火）14時00分～14時22分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：令和2年度（第49回）川崎市文化賞等の受賞者が決定しました（市民文化局）  
市政一般

### <内容>

#### 《令和2年度（第49回）川崎市文化賞等の受賞者が決定しました》

【司会】 ただいまから、市長記者会見を始めます。

本日の議題は、「令和2年度（第49回）川崎市文化賞等の受賞者が決定しました」となっております。

それでは、初めに、福田市長から本議題について御説明いたします。市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 令和2年度川崎市文化賞等の受賞者が決まりましたので発表させていただきます。

本賞は、昭和47年度の第1回以来、49回目を迎えます。本年度は、個人・団体合わせて17候補の中から川崎市文化賞等選考委員会において審議をしていただき、資料表紙にありますように、6個人、1団体の方々の受賞を決定いたしました。各賞の贈呈式は10月29日木曜日、川崎市国際交流センターで午後2時30分から行います。

次に、本年度受賞される方々について説明をさせていただきます。資料1ページをお開き願います。本年度の各賞受賞者の一覧でございます。

まず、各賞について説明いたします。初めに、文化賞でございますが、この賞は、本市における文化芸術の向上・発展に尽力され、その功績が顕著な方、教育・学術・芸術の分野で創造的な活動・実績により本市のシティーセールスにつながる成果を上げ、その功績が顕著な個人または団体に贈呈されるものです。

次に、社会功労賞でございますが、この賞は、市民生活や地域社会の向上・発展に多年尽力され、その功績が顕著な個人または団体に贈呈するものです。

次に、スポーツ賞でございますが、この賞は、国際大会等で優秀な成績を残された個人または団体、並びにスポーツの普及・振興に尽力された個人または団体に贈呈されるものです。

最後に、アゼリア輝賞でございますが、この賞は、文化・芸術分野など、現在活躍中の若年層及び中堅層で、さらに今後の活躍が特に期待される個人または団体に贈呈するものです。

続きまして、個々の受賞者につきまして、その功績の概要を申し上げます。

まず、文化賞でございます。2ページの宮田進様でございますが、不登校児童・生徒の学校復帰を支援する認定NPO法人教育活動総合サポートセンターを設立され、一人一人の子供の心に寄り添いながら、学校への復帰の支援や居場所づくりに取り組んでこられ、教育委員会や学校と連携しながら、川崎市の学校教育に大きな貢献をされました。

4ページの若宮崇令様でございますが、川崎市青少年科学館の開館当時の職員として、市民に自然科学の楽しさを伝えてこられ、市民に親しまれるプラネタリウムへの発展に貢献されました。著名なプラネタリウムクリエイターである大平貴之さんを指導されるなど、人材育成、教育・文化活動に尽力をされました。

6ページの伊藤多喜雄様でございますが、日本を代表する民謡歌手として、ソーラン節では日本中にブームを起し、NHK紅白歌合戦には2回出演するなど、全国的な活躍をされています。また、長年川崎市に拠点を置いて、地域愛あふれる音楽活動を展開し、市民に民謡の魅力を伝え続けておられます。平成27年に川崎市市民文化大使に就任し、川崎市のPRに積極的に御協力くださっています。

次に、社会功労賞でございます。8ページの裴重度様でございますが、川崎市ふれあい館の館長を約20年間務められ、地域の在日外国人の支援など、民族の垣根を越えて、共に生きる地域社会を目指した実践を展開されてこられました。また、約30年間にわたり川崎市の多文化共生施策に関わる各種委員会の委員を務められ、川崎市の多文化共生施策の推進に貢献されました。

10ページの山内典明様でございますが、地域のかかりつけ歯科医として歯科保健医療に従事されるとともに、川崎市歯科医師会会長として、誰もが安心して、身近な地域で歯科診療が受けられるように、障害者や高齢者、妊婦を対象とした歯科診療、休日診療体制の構築など、地域歯科診療体制の整備に尽力をされました。

次に、スポーツ賞でございます。12ページの、川崎ブルーソックス様でございますが、70歳以上で構成される古希軟式野球のチームで、全日本古希軟式野球大会で2回優勝されています。「グラウンドでピンピンコロリ」を合い言葉に精力的に活動されており、健康づくりや生涯スポーツに取り組む多くの市民の励みとなっているスポーツチームです。

最後に、アゼリア輝賞でございます。14ページの本田奎様でございますが、川崎で生まれ育った若手の将棋棋士で、令和元年には初参加の棋王戦で決定戦に進出され、初参加のタイトル戦での挑戦権獲得は史上初、プロデビューから1年4か月での挑戦権獲得は史上2番目の早さという快挙を達成し、今後のさらなる活躍が期待されます。

以上で説明を終わらせていただきます。

【司会】 それでは、ただいま御説明しました議題についての質疑応答に入らせていただきます。なお、市政一般に関する質疑につきましては、本件終了後、改めてお受けいたします。

進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いいたします。

【幹事社】 幹事社です。よろしくお願いいたします。

【市長】 よろしく申し上げます。

【幹事社】 今年もこの受賞者が決まったということで、この受賞者を見たときの市長の感想と、こういった表彰をしていくことの意義みたいなものを改めてお話しただければと思います。

【市長】 受賞者の顔ぶれを見ますと、地域の中で地道に長年にわたって活動されていた方が非常に多いなということを思います。それと、この文化賞等を贈呈している意義でありますけれども、川崎には、このように地道に素晴らしい活動をされている方がいらっしゃるんだということを市民の幅広い層に知っていただいて、我がまちの誇りとしていただきたいなという思いもでございます。また、この受賞をきっかけに、さらにこの方々が地域の中で御活躍をいただくことを願っています。

【幹事社】 幹事社です。今のお話に関連してなんですけれども、近年、特に人気の高まっている将棋棋士の受賞で、若い方が選ばれたということで、本田奎さんに対するこれからの期待について、特に何かお言葉をいただければと思うんですが。

【市長】 本当に、かなり前から市内在住で活躍されているというのは、知っている人は知っているという感じでありましたけれども、先ほど御紹介したように、本当に飛ぶ鳥を落とす勢いで活躍をされていて、将棋界でもこういう若手の台頭がめざましい中の大いに期待される方だと思います。

「メッセージ for Kids」にも本田さんには御出演をいただいて、そのメッセージというのは、何となくスポーツの選手が目立った感じはするんですが、その中であっても本田さんの再生回数は非常に多くて、すごく期待されているのを、また、若者への、だけではないですけれども、そういった意味で期待されているなというのを私も改めて感じているところです。ぜひさらなる活躍を期待したいなと。アゼリア

輝賞にもものすごくふさわしい方なんではないかなと思います。

【幹事社】 ありがとうございます。

幹事社からは以上です。各社さん、お願いします。

【司会】 御質問はいかがでしょう。よろしいでしょうか。

それでは、本議題につきましてはこれで終了いたします。ここで関係職員は退席をお願いいたします。

#### 《市政一般》

【司会】 続きまして、市政一般に関する質疑応答をお願いいたします。進行につきましては、幹事社様、よろしくをお願いいたします。

#### 《自民党菅新総裁について》

【幹事社】 それでは、引き続きまして、よろしく申し上げます。まず、市政とは直接は関係ないのかもしれないのですが、昨日、自民党の総裁選挙で菅官房長官が総裁に就任することになって、明日の首班指名選挙で総理大臣に指名されることとなっています。改めましてですけれども、菅新総理に対する期待、それから注文などありましたら、受け止めとともに教えてください。

【市長】 この場でも何度か言ったかもしれませんが、菅総裁におかれては、官房長官時代にも何度も川崎に足を運んでいただいて、川崎の実情についてよく御存じです。私も官邸にお邪魔して、いろいろなお話をさせていただいても非常に詳しく御存じですので、一般的に地方の実情ということはよく御存じだと思いますが、さらに言えば、川崎の実情にも非常に精通された方が明日総理になられるということは、私たちにとっては、川崎市にとっても非常に心強いと感じております。地方自治を大切にされてきた方でありますので、総理になっても、地方の目線というものを大事にさせていただいて、国政をリードしていただきたいなど大変期待をしているところです。

【幹事社】 総裁選の最中には、菅さんのこれからやろうとしている政策についても幾つかお話が出ていたと思いますが、何か期待するところ、あるいは、ここはちょっとというところありますか、政策面で。

【市長】 日本で遅れていると言われているデジタル化の話というのは、看板になるのかもしれませんが、デジタル庁の話が出ているのは、私どもとしても早急に取り組まなければならない課題でありますので、そういった意味では、国と地方が綿密な連携の下に、一体となって強力に進めていきたいと思っていますので、そこに大いに期待したいと思っています。

それと、コロナの収束というのも一丁目一番地というか、一番言われているところ

ですので、それについても、国、県、市と力を合わせてやっていきたいですし、何と  
言っても、その中にあるだけでも、できることはやっていくという経済の再生というもの  
を、これまた一丸となっていかなければならないので、ここは国と地方、しっかりと  
力を合わせていきたいなと思っております。

【幹事社】 今に関連してですけれども、川崎市として特に、この課題の解決につ  
いて菅次期首相に進めていただきたいというところはございますか。

【市長】 これまでも、実は官房長官時代に各省庁の横串を刺してもらったというの  
は、実は川崎は非常に恩恵を被っている部分があります。それは、特に臨海部での特  
区の話、国家戦略特区の話もそうでありますけれども、いろんな国のプロジェクトを  
臨海部で実現して、今、いい成果ができつつあります。そういった意味で、国の成長  
戦略と川崎の成長戦略が合致している部分が多いものですから、さらに省庁間の壁  
を打ち破っていただいて、地域の発展、さらには、これが国の成長につながるような  
取組を期待したいと思っています。

【幹事社】 ありがとうございます。

幹事からは以上です。各社さん、どうぞ。

【記者】 菅さんに対する期待に関連してなんですけど、多摩川の小河内ダムの前  
放流というのも、危機管理室の人などから聞いているのだと、菅さんによる成果が大  
きいと聞きましたが、逆に、昨年まで進まなくて、菅さんでないとそういったことが  
できなかったあたりの経緯だったりとかを教えてくださいませんか。

【市長】 今までできなかった経緯というのは、それは国に聞いていただきたいん  
ですけれども、ただ、利水と治水というのが非常に明確に縦割りの中でやられていた  
ものを打ち破ることができたというのは菅官房長官のときのリーダーシップは私も認  
識していますし、この前、直接お会いしたときも、こういうことができたよという話を  
聞きましたので、それには期待したいというか、その成果が実際に運用されることにな  
ると威力を発揮するのではないかと思いますので、そこの後の連絡調整みたいのは  
うまく、国と都の部分があるので、その辺りは国と地方の連携を、こういった形でう  
まくやっていただけるのは大変ありがたいことだとは思っています。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 菅さん、ふるさと納税のほうを中心になって進められたということがあり  
ますが、ふるさと納税には川崎市は非常に苦しめられている部分があると思うん  
ですけれども、その辺についての御所感と、あと、今後どうしてほしいというのを改めて  
お聞かせください。

【市長】 これは、どなたが総理になっても変わらず、川崎市の今の現状と要望という制度の、こういったところを変えてほしいと。例えば、寄附の上限というものを決めてほしいとかということについては、引き続き政府に求めていきたいとは思っています。

【記者】 菅さんが行政のトップになるということで、その辺、難しい、あるいは簡単、いいほうに進む、今後はどういうふうになると思いますか。

【市長】 うーん、どうですかね。それはまだちょっと、どうなるかというのは未知数ですけど、お会いしたときも、こちらが実はどのぐらい困っているのかということを行う前に影響額まで御存じでしたから、相当実情はよく御存じだとは思っています。ですから、そういう意味で、実情が分かっている中で、どう国の中でバランスを取っていくのか。分からない人が政策を考えるのではなくて、分かっている中でどう国としてバランスが取れていくのかということは全く違うことだと思うので、そういった意味では私は期待しています。

【記者】 分かりました。

【司会】 そのほか、御質問いかがでしょうか。

#### 《新型コロナウイルス感染症関連について》

【記者】 ちょっと話が変わるんですけど、コロナウイルスの関係で、今日、対策本部の会議もやられていましたけど、イベントの制限とかが緩和されていくということで、市長として、この時期のタイミングで緩和というのはどういうふうに受け止められていますか。

【市長】 全体としては、そうだろうとは思いますが。減少傾向にある。今朝の会議でも申し上げたように、劇的に減っているという形ではありませんけれども、徐々に減っていったという中で、気をつけながら経済を動かしていく、社会活動を戻していくという意味では適切なのではないかと考えております。それは、ちゃんと運用できるかということがこれから問われるわけで、そこは私たちもしっかり理解をして、市民の方々も混乱しないように、広報なりは自治体としてもやっていかないといけないかなと考えております。

【司会】 そのほか、御質問いかがでしょうか。

#### 《川崎じもと応援券について》

【記者】 一応、もうすぐまた時期が来るので伺っておくんですけど、じもと応援券、間もなく2次販売も終わる時期ですので、3次のほう、どういう動きになっているか、決まっている部分があれば教えてください。

【市長】 まだ3次のいつからと、どこが販売になるのかというのが、詳細まだ決定していない段階ですので、決定次第速やかにお伝えさせていただきたいと思っています。まだ前回から状況は変更ございません。

【記者】 21で販売が終わりますよね。22から早速動くとか、そういうことはまだ、そこも含めて検討中ですか。

【市長】 そうですね。なるべく早めにお知らせできればとは思っているんですが、まだその準備段階途中ということで御理解いただければと思います。3月31日まで使えるようになったんですというのがなかなか伝え切れてないので、3次販売のときにもちゃんと一言なくちゃいけないと思うんですが、まだ今の段階でも伝え切れてないので、私も会った人なんかにはちょっとそういう話をすると、えっ、そんなのいつ決まったの？ という形なので、私どもの課題はたくさんあるなと思っていますし、ぜひ現状でもお伝えいただければと思います。

【司会】 そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

---

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)2355